

2015 年度 第 5 回常任理事会：議事録

日 時：2016 年 3 月 27 日（日）14 時 00 分～17 時 30 分

場 所：日本体育大学 5 階 中会議室

出席者：藤田主一理事長、谷口泰富副理事長
伊坂裕子、田中真介、外島 裕、深澤
伸幸、蓮花一己（五十音順）
山本勝則（第 83 回大会委員長）
軽部幸浩（広報委員会副委員長）
小林剛史（心理学検定常任運営委員）

事務局：宇部弘子（事務局長）、福場久美子（幹
事）、小川拓郎（幹事）（敬称略）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- ・常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）

- ・『応用心理学研究』第 42 巻 3 号の刊行時期が遅れている。
- ・電子投稿の運用を開始してから 3 年経過した時点で投稿論文 118 本を受け付けている。
- ・機関リポジトリへの対策と施行の準備について提案があった。

2) 企画委員会（代読：宇部弘子事務局長）

- ・第 83 回大会期間中において、研修会 A の演題は「研究と実務の融合：犯罪者プロファイリングをとおして（仮題）」、講師を岩見広一先生、研修会 B の演題は「人間関係と働く人々の well-being（仮題）」、講師を小野公一先生で企画している。

3) 広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』vol. 8 が完成した。
- ・ホームページの性能変更について説明があった。
- ・電子ジャーナル発行を支援するシステム「J-STAGE」について説明があった。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

- ・後期は 2 名を認定した。
- ・賞状・認定証ケース見積書の説明があった。

5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）

- ・ICP2016 における日本交通心理学会と日本応用心理学会との共催シンポジウムは、外国研究者 3 名で企画している。

- ・7 月 28 日には、日本の研究者との交流を目的にディナークルーズのパーティーを企画している。

- ・『応用心理学研究』英文特集号において、14 本の投稿があり、現在 4 本が採択、3 本が不採択、7 本が継続審査となっている。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

- ・来年度の計画を再検討する。
- ・「優秀大会発表賞」投票率の向上を目指したい。

7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

- ・非会員学生の連名発表の発表費について問題点が述べられた。

8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）

- ・「ヒト」を対象とする研究で、倫理審査を通していない論文がないよう徹底したい。

3. 日本心理学諸学会連合について（代読：藤田主一理事長）

- ・2015 年度日本心理学諸学会連合の第 2 回定例理事会内容についての説明があった。

- ・3 月 20 日（日）に開催された日本学術会議「公開シンポジウム」の内容について報告があった。

4. 心理学検定について（小林剛史常任運営委員）

- ・心理学検定局の新体制についての報告があった。
- ・『一問一答問題集』を新たに発売中である。
- ・法人化に伴い、検定料の見直しについて説明があった。

5. 2015 年第 82 回大会について（代読：宇部弘子事務局長）

- ・次回に報告する。

6. 2016 年第 83 回大会について（山本勝則大会委員長）

- ・ホームページ内容の報告があった。

7. 日本心理研修センターへの寄付について（藤田主一理事長）

- ・日本心理研修センターから、日本応用心理学会へ寄付のお礼状が届いた。

8. トランクルームの賃借について（藤田主一理事長）

- ・国際文献社が保管している資料について、保管数ならびに業務契約の問題から今後の維持が困難になるため、トランクルームを借用する報告があった。

9. 齊藤勇記念出版賞選考について（藤田主一理事長）

- ・候補者を推薦いただきたい。

10. その他（藤田主一理事長）

- ・特になし。

II 審議事項

1. 決算、予算の件（宇部弘子事務局長）

- ・学会賞選考委員会の予算追加補正金として、次年度予算の変更案が承認された。
- ・新規設置委員会（特別委員会）の予算計上案が承認された。
- ・機関誌予算について、編集関連業務委託費の追加案が承認された。
- ・新規追加項目のホスティング料金、トランクルーム賃借料案が承認された。
- ・予算追加として賞状・バインダー費、合本・製本費が承認された。

2. 名誉会員推挙の件（藤田主一理事長）

- ・本年度は該当者なし。

3. 国際文献社との業務契約の件（宇部弘子事務局長）

- ・業務委託契約書の変更箇所の説明があった。

4. 機関誌、大会発表論文集の電子化・公開の件（軽部幸浩副委員長）

- ・委託先について、国際文献社、「J-STAGE」が候補としてあげられた。

5. 特別委員会設置の件（藤田主一理事長）

- ・日本応用心理学会の歴史・資料を保存する目的で新委員会を設置したい旨の説明があり、

審議の結果承認された。

6. 「応用心理士」認定制度の件（外島裕委員長）

- ・認定制度規則第4条(1)の見直しが必要である。

7. 本学会独自の研究費の件（藤田主一理事長）

- ・若手研究者を対象に研究費補助制度を設けた。詳細については学会活性・研究支援委員会で検討願いたい。

8. 新入会員審査および会員異動に関する件（宇部弘子事務局長）

- ・2016年3月14日現在の会員数は、一般会員1,129名、院生会員78名、学生会員3名、名誉会員31名、終身会員40名、賛助会員2名である。

- ・2名の一般会員会費補助申請があり、2名とも承認された。

- ・1名の終身会員申請があり、承認された。

中島たけし（敬称略）

- ・4名の一般会員入会申請があり、3名が承認され、1名が保留となった。

萩原広道、中野友香子、大熊ラーナ（敬称略）

9. その他

- ・特になし。

＊次回の常任理事会は、2016年5月22日（日）14時から日本体育大学にて開催する予定である。